



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東
 コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 田中 彰一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 杉山 茂紀 TEL 042-764-0392
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	785	△41.0	△219	—	△216	—	△197	—
2026年3月期第1四半期	1,330	56.1	△50	—	△44	—	△41	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △103百万円(— %) 2026年3月期第1四半期 △110百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△31.93	—
2026年3月期第1四半期	△6.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	14,199	11,635	81.9	1,883.50
2026年3月期	15,173	12,174	80.2	1,970.93

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 11,635百万円 2026年3月期 12,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	△5.3	65	△49.6	77	△49.1	52	△43.4	8.42
通期	8,800	△5.6	803	△27.8	823	△29.8	560	△35.4	90.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	6,499,000株	2026年3月期	6,499,000株
2027年3月期1Q	321,449株	2026年3月期	322,149株
2027年3月期1Q	6,177,318株	2026年3月期1Q	6,165,051株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Qの期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式58,800株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高止まりや供給制約、通商政策を巡る不確実性、地政学的リスクの長期化などを背景に、地域や産業により景況感にばらつきが見られました。一方で、AI関連投資の拡大やテクノロジー関連需要の底堅さが景気を下支えし、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の底堅さなどを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、消費者物価の上昇による個人消費への影響に加え、資源価格、物流費、金融資本市場の変動等による下振れリスクもあり、先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、AIサーバーやデータセンター関連の投資、自動車の電装化、次世代通信規格への対応を背景に、電子部品メーカーによる技術革新への取り組みは継続し、電子部品の出荷には持ち直しの動きが見られました。一方で、産業機器市場では在庫調整の長期化が続いたほか、スマートフォン市場ではメモリなどの部材制約や価格上昇の影響もあり、需要の回復には用途や地域によってばらつきが見られました。このため、デバイスメーカーの設備投資は成長分野に絞られ、総じて慎重な姿勢が続きました。

こうした環境のなか当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル作製依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、車載部品市場における新規先からの受注を獲得しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高は30億49百万円(前年同四半期比62.6%増)、売上高は7億85百万円(同41.0%減)となりました。損益につきましては、経常損失2億16百万円(前年同四半期は44百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億97百万円(前年同四半期は41百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は23億68百万円(前年同四半期比60.3%増)、売上高は2億79百万円(同69.1%減)、セグメント損失は56百万円(前年同四半期は1億1百万円の利益)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、AIデータセンター向けサーバー用水晶デバイスの需要増加、車載向けメモリ需要逼迫への対応としての安全在庫確保の動きなどを背景として、生産能力の増強や既存設備の更新に向けた投資の動きが見られました。このような環境のなか当社は、国内外の主要顧客に対する営業活動を継続して推進し、受注を獲得いたしました。

水晶デバイス装置の受注高は12億93百万円(前年同四半期比407.8%増)、売上高は2億8百万円(同598.7%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、スマートフォン向け光学部品に係る増産設備投資は依然として慎重な姿勢が続きました。こうしたなか当社は、スマートフォン関連以外の市場への営業活動を推進し、一定の受注を確保いたしました。

光学装置の受注高は4億21百万円(前年同四半期比300.6%増)、売上高は71百万円(同91.1%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル作製依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努めることで、航空宇宙関連をはじめ、車載関連、研究開発用途などの受注を獲得いたしました。

電子部品装置・その他装置の受注高は6億53百万円（前年同四半期比41.5%減）となりました。一方、売上高につきましては、顧客都合により一部案件の納品時期が第2四半期連結会計期間以降に延期となったことなどにより、当第1四半期連結累計期間における売上計上はありませんでした。

②サービス事業

サービス事業においては、ユーザーに対する定期的な稼働状況の確認を通じて潜在ニーズの掘り起こしを図るとともに、顧客の生産性向上に向けた提案活動を推進いたしました。こうした取り組みに加え、ユーザーの設備稼働状況に回復の動きが見られ、消耗品販売や保守・メンテナンス需要が堅調に推移したことなどにより、受注及び売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

サービス事業の受注高は6億80百万円（前年同四半期比71.2%増）、売上高は5億6百万円（同18.8%増）、セグメント利益は1億4百万円（同25.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は103億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億16百万円減少しました。これは主に仕掛品が6億87百万円増加、売掛金が14億22百万円減少、現金及び預金が5億17百万円減少したことによるものです。固定資産は38億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。これは主に投資有価証券の時価評価により63百万円増加、繰延税金資産が28百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は141億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億73百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は21億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億41百万円減少しました。これは主に賞与引当金が1億91百万円減少、未払法人税等が1億80百万円減少、支払手形及び買掛金が1億66百万円減少したことによるものです。固定負債は4億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が7百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は25億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億34百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は116億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億38百万円減少しました。これは主に配当金4億36百万円の支払い、当期純損失1億97百万円の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は81.9%（前連結会計年度末は80.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日付「2026年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,450,300	5,933,201
受取手形	541	—
電子記録債権	237,688	324,839
売掛金	2,731,559	1,309,172
商品及び製品	2,051	1,855
仕掛品	1,594,326	2,282,303
原材料及び貯蔵品	263,644	257,784
その他	62,581	217,470
貸倒引当金	△947	△1,518
流動資産合計	11,341,745	10,325,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	828,437	816,879
機械装置及び運搬具（純額）	173,875	158,132
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	90,971	138,991
その他（純額）	98,276	91,551
有形固定資産合計	3,162,123	3,176,118
無形固定資産		
リース資産	430	107
その他	62,685	60,972
無形固定資産合計	63,116	61,080
投資その他の資産		
投資有価証券	260,708	324,222
繰延税金資産	214,438	185,505
退職給付に係る資産	101,435	97,897
その他	30,815	30,809
貸倒引当金	△981	△917
投資その他の資産合計	606,416	637,516
固定資産合計	3,831,656	3,874,715
資産合計	15,173,402	14,199,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	719,078	552,845
電子記録債務	101,770	90,671
1年内償還予定の社債	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
リース債務	6,523	5,914
未払費用	192,998	213,558
未払法人税等	188,853	8,038
前受金	292,219	372,289
賞与引当金	272,110	80,511
役員賞与引当金	85,300	14,300
製品保証引当金	52,000	31,000
工事損失引当金	9,200	21,400
その他	119,295	207,741
流動負債合計	2,589,348	2,148,270
固定負債		
リース債務	12,385	10,936
退職給付に係る負債	256,016	263,254
株式給付引当金	66,293	66,767
長期末払金	75,192	75,190
固定負債合計	409,887	416,148
負債合計	2,999,236	2,564,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,798,018	2,798,018
利益剰余金	6,782,420	6,148,640
自己株式	△297,452	△296,481
株主資本合計	11,460,092	10,827,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157,264	200,790
為替換算調整勘定	470,445	525,794
退職給付に係る調整累計額	86,363	81,537
その他の包括利益累計額合計	714,073	808,123
純資産合計	12,174,165	11,635,405
負債純資産合計	15,173,402	14,199,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,330,519	785,478
売上原価	947,622	558,898
売上総利益	382,896	226,579
販売費及び一般管理費	433,839	446,477
営業損失(△)	△50,942	△219,897
営業外収益		
受取利息	2,023	1,841
受取配当金	60	60
受取賃貸料	501	485
補助金収入	9,121	—
為替差益	—	1,949
その他	384	746
営業外収益合計	12,090	5,083
営業外費用		
支払利息	433	389
支払保証料	382	382
為替差損	4,187	—
リース解約損	—	597
その他	303	114
営業外費用合計	5,307	1,484
経常損失(△)	△44,158	△216,298
特別損失		
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△44,158	△216,301
法人税、住民税及び事業税	4,425	△30,268
法人税等調整額	△7,549	11,203
法人税等合計	△3,124	△19,065
四半期純損失(△)	△41,034	△197,235
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,034	△197,235

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△41,034	△197,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,239	43,526
為替換算調整勘定	△69,538	55,349
退職給付に係る調整額	△3,484	△4,826
その他の包括利益合計	△69,783	94,049
四半期包括利益	△110,818	△103,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,818	△103,186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は82,526千円、59,500株、当第1四半期連結会計期間末は81,555千円、58,800株です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	904,528	425,991	1,330,519
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,648	—	20,648
計	925,176	425,991	1,351,167
セグメント利益	101,115	82,936	184,052

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	184,052
セグメント間取引消去	5,752
全社費用 (注)	△240,747
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△50,942

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	279,358	506,119	785,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	176	14	190
計	279,534	506,134	785,668
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△56,974	104,456	47,481

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,481
セグメント間取引消去	7,223
全社費用 (注)	△274,603
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△219,897

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	53,999千円	48,494千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	29,803	69,059	98,862
光学	799,724	129,209	928,934
電子部品	75,000	208,485	283,485
その他	—	19,236	19,236
顧客との契約から生じる収益	904,528	425,991	1,330,519
外部顧客への売上高	904,528	425,991	1,330,519

当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	208,237	102,368	310,606
光学	71,120	153,676	224,797
電子部品	—	219,816	219,816
その他	—	30,258	30,258
顧客との契約から生じる収益	279,358	506,119	785,478
外部顧客への売上高	279,358	506,119	785,478

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日) (千円)	前年同四半期増減率(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	208,237	598.7
光学装置	71,120	△91.1
電子部品装置	—	△100.0
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	279,358	△69.1
サービス事業		
改造工事	108,734	△21.2
部品販売	285,149	49.9
修理・その他	111,950	14.7
サービス事業計	505,834	18.7
合計	785,192	△41.0

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期増減 率 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期増減 率 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,293,314	407.8	2,595,537	△25.1
光学装置	421,720	300.6	497,912	△67.0
電子部品装置	653,407	△41.5	2,083,821	14.1
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	2,368,443	60.3	5,177,271	△23.9
サービス事業				
改造工事	283,523	158.1	442,027	22.6
部品販売	285,434	50.0	—	—
修理・その他	111,950	14.7	—	—
サービス事業計	680,908	71.2	442,027	22.6
合計	3,049,351	62.6	5,619,298	△21.5

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日) (千円)	前年同四半期増減率(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	208,237	598.7
光学装置	71,120	△91.1
電子部品装置	—	△100.0
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	279,358	△69.1
サービス事業		
改造工事	108,734	△21.2
部品販売	285,434	50.0
修理・その他	111,950	14.7
サービス事業計	506,119	18.8
合計	785,478	△41.0

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。